

1 5 期 同 期 会 in 北 海 道

(平成14年10月27日~28日)

15期 舟田 節子

(15期においては記録提出で同期会幹事が終了すると定めてあります。でも、紅葉の後はずぐスキーシーズンが始まる北海道。JTB北海道は帰宅もままならない不況知らずなんだそうです。待ってるより書いた方が速いと、渡辺主幹事代筆)

* 1年前から下準備

何と2001年秋。皆が神戸同期会を楽しんでいた当日、「同期会in北海道」は札幌すすき野にて初期微動をしておりました。よりによって会社の慰安旅行に重なってしまった奥名氏が、15期会残金(連絡費)を、呼び出した渡辺氏に預けた(押しつけた)事により、15期会札幌分会は、正幹事:渡辺純久、副幹事:奥名正啓の、北海道同期会準備会へと変貌したのです。

そのうえ神戸に集まっていた面々が代る代る携帯で「だいたいお前が『遠い、遠い』と来んからあかんのや。こっちが行ったるから、オール込み17,000円で手配せい!」と脅しました。でも私、その時は、半信半疑でしたよ…。

* コバルトのか~ぜ~ 感激そのI

猛暑の夏、うだる夏…そのお誘いはJTBの封筒で舞い込みました。当然といえば当然ですけど、プロ仕様のスケジュール表。「全日空の超割orJALのバーゲン+豪華ホテル」と、まさに年季通りの激安&夢のプランでありました。安さに釣られて旦那まで「ワシも行く」と言い出し…1日前から入ってどこかの山をともしましたが望み薄と分かり、妥当に、土日の便の手配を依頼しました。

そのように「航空機は原則各自予約」なんて誰もやらず、「面倒な方々」が当然と主幹事に依頼。これが最難関だったようです。業界内の人間が限定超安切符を何枚も押さえ込むなんて、かえって出来ない事です。人脈をフル稼働し、借りも一杯作ってしまったんじゃ…。感謝してます!

(ps. 正確には、超真面目の上馬さんが原則通り「各自予約」をやり、取れませんでした。その結果、渡辺幹事の苦戦が尾を引くことになりましたので…社会通念の方が勝ちの1コマ)

* 山モードで決め! 感激そのII

夫婦で出掛けるとなると、お揃いの山姿か思い浮かばず、小松空港で早速「どこ行くつもりなの?」と、松林夫妻、上馬さんに笑われました。だって、こっちの方が、一式揃ってて安心なんだもん!それに昭和新山登山って書いてあったでしょ?(だいたいね、私は2回北海道行ってるけど、2回とも石狩から旭までの縦走だったんだからね!山装束で行くもんなの!)

小松の雨天から、意外に穏やかな新千歳の空へ。京都同期会に出していない私には、まさに卒業以来の渡辺氏との再会。昔と一緒プラス、30年で身についた添乗員らしい気配り目配りが見えてついニヤニヤ。彼の方は「毎年、年賀状の

写真で見てるからね」と、(太目のオバサンになっただね!)を控えてニヤニヤ。

昨日のうちに入札していた副幹事奥名さんとも打ち合せは済んでいるようで、大阪組の宇野夫妻と鈴木さん、東京からの間所夫妻、名古屋からの佐野さんが続々集結。昨年神戸幹事だった鈴木さんは「お任せって、何て楽!」と、院長の既得権と化したホリデーにご満悦の体。20分足らずで全国から集結出来るなんて、成程、新千歳は日本の表玄関の一つなんですね。

レンタカー2台に分乗。こんな判らんとこ運転出来ん!と控える面々に対し、黙ってハンドル握っちゃう、佐野さんに奥名さん。こっちの車内では松林氏の凝った解説が始まり、人材豊富に甘えさしてもらいます。まず目指すはJTBお墨付きの札幌ラーメン屋。そう、思い出しますよ。昔、北海道合宿の帰りのラーメン屋で、ヤクザに凄まれてしまったこと…。でも今日はホッカホッカの大満足。店を振り返ったら「本日の営業は終わりました」の案内が出ていて、限定の味を反芻しました。

* 北の大地、紅葉最後の輝き 感激そのIII

ここから、渡辺主幹事は結婚式参列のため、夜まで離脱。奥名副幹事車を信じて洞爺湖へ向かいます。カーナビ搭載車なるも、カーナビ不慣れな諸氏、土地勘も無しで、車内はガキ、ジャリ丸出し状態の会話が飛び交う。それでも画面には支笏湖が映り出して、カーナビで大湖を見たことのない私はやはり感激致しました。

渡辺主幹事によれば紅葉見頃は先週までであったとのこと。でもまだまだ、北上する程紅葉は見事を実感出来ます。「集合写真撮るぞー」と言って、車まで駆け戻る宇野氏。そのうえ「あ、フィルム入っとらん」と、またまた向こうの売場へ駆けて行く彼の姿に、「何も変わっとらん(進歩しとらん)」の爆笑の渦。湖もダイナミックなら、周りの火山群も魅惑的。でも紫色を帯び始めています。さあ明るいうちに洞爺湖に着かなくては。

原生林を走り抜け峠を越えると、意外なほどの大温泉街に入って行きます。被災の片鱗もなく賑わう通り。洞爺湖パークホテルはそんな中での大豪華ホテルでした。ガラス張りの広い広いロビーに入り、ほんとここでのいい?と一段下がった大レストランを振り返れば、総ガラス張りの全面に洞爺湖が茫洋と広がり、嵌め絵のように羊蹄山が聳えています。もう信じられない。だって、同期会ってこれまで国民宿舎とか公営O△センターとか、安い安いの所を漁って来たんですよ。地域の安くて騒がての穴場を見付けるのが、幹事の腕でした。「渡辺さんを永久幹事にすべきよ!」の声も上がりましたが…。部屋に入ればさっきと同じ景色が広がり、大浴場に浸かれば、向かいの温泉街の灯りがこれまた幻想的に揺らいているのでした。…15期でよかった!?

* 宴会は毎度楽しい 感激そのIV

ロビーにて渡辺夫人に合流しました。元16期の恵子ちゃん。さっそく来年のOB総会にご招待しましたが、「まだまだ行ってない国がある





舟田 舟田 松林 佐野 鈴木 宇野 間所 松林 上馬
奥名 間所 撮影：宇野

から、そっちが先。皆さんによろしく」の弁。彼女もJTBの妻を謳歌しているようでした。

「女性部屋」「男性部屋」「チョンガー早寝部屋」と部屋割りすると、女性軍は早速賑やかなおしゃべりが始まります。「この間ふと見下ろしたらね、娘が〇〇おじんと歩いているのが見えて、『誰よ。あの馴々しいおじんは！』と聞いたら『ん？お父さんよ』。私、真上から見たことがなかったから、二重にショックだったわ」とか、「ねえねえ、この頃怒りっぽくなったと思わない」「うちもよ。男も更年期があるっていうじゃない」ワーワー、キヤーキヤー。「えー、先にお風呂？そっちのバッグに入ってるでしょ。わかんない？もお、旦那が最後まで子供なんだから！」着替えを持たせてまたワーワー。正規の近況報告タイムより、この時の方が同期のお父さんぶり、夫ぶりがよくわかって、めちゃ楽しい！そして何より円満、堅実の家庭が偲ばれます。その頃には「おいおい、女性軍もこっち来んか」と、所在なげになった男性軍から御呼びがかかる…というパターンです。

食前酒がかなり回った体で宴会場へ。子供席もなくなり、彼らは徐々に大溜りを終えて昔の自分達のように就職し、自分の道を歩き始めている…こんな同期会の時の方が、不思議に歩いてきた道を振り返る心地になるものです。第二の職場に移った人も多く、まだ一頑張りながらも、とりあえず急坂を乗り切った感が漂います。ちなみに今回珍しく欠席の高村さんは、沙緒里ちゃんとのイタリア卒業旅行に重なったもの…頑張ってきたよね。そうそう「孫はかわいいぞ！」と、一早く次のステージにジャンプした髭じいちゃんが一人。賓客(?)にあたる主人も、「卒業して30年も経っているのに、こんなになごやかに続いている会は珍しいんじゃないか」と相応のコメントで盛り立てておりました。現役時代の4年間も楽しかったけれど…人生で一番投資効果の高かった4年間だったと思います。人生という大海に共に漕ぎだした戦友…くぐった荒波が判るのが同期です。

宴会部屋の「お色直し」のため、一旦退室。幻想的な湖上花火を見た後、二次会。所用を終えた渡辺主幹事がようやく合流。彼、話の種にと、ワングル資料を全部揃えてありました。OB会報もずらりと並べてあって…これは私の奮戦10年の歴史でもありましたから、自分の欄にあるのとはまた違った感動がありました。しかし卒業アルバムでやたら「可愛かったね」を連発したから、この気配りは過剰だ！ワングルソングを歌いたがる(?)渡辺氏のために次々と、まだら歌詞が北海道の湖畔の一室に流れたのでした。「ワングルの歌ってどれも同じみたい」と言いながら、17期宇野夫人は当然として奥さん連も唱和できるのが同期会の年季。あの頃夜な夜な、どうしてこんな歌くらいで時間が過ごせたのか…。

*有珠山西山火口へ 感激そのV

部屋へ戻ってからも宴会は続いたはず。なのに朝飯前の、有珠山西山火口散策には、ちゃんと全員ロビーへ集合。立派！2台に分乗し、温泉街後ろの丘陵へ。2年半前の災害の跡は温泉街には片鱗もなく、この地域に入ると廃棄された建物も残され、そのまま新観光地となっています。早朝ゆえますます噴煙は白々と、たぎる大地のエネルギーをしのばせます。幾筋も断層のに入った道路、半埋まりの道路標識、露出した水道管、放置されたままのコンボが、生々しい。救援お礼のボランティアおばさん達がマップを配っていましたが、観光地の悲哀としたたかさも見た気がしました。大地のエネルギー以上に、この地に生きる「人のエネルギー」を垣間見れた地でした。

*昭和神山そして帰路へ 感激そのVI

焦茶マフィンのような神山は、すぐ傍にありました。有珠山を3分の1周すると有珠山ロープウェイがかかり、向かいの昭和神山を眺め下ろせるようになっていきます。残念ながら、私達

に乗る時間はありません。「登りに来たんでしょ。さあ」と、主幹事は強くお勧めでしたが、防護柵に阻まれ、それらしく記念写真を撮るまででした。ここからはもう帰路です。

真っ青な空に、汗ばむほどの陽気。「去年と同じ服」を気にしていた間所夫人も「私の気象判断の方が正しい!」。小麦色の景色が、広々、伸び伸び…。でもこの日、晴れていたのは北海道だけだったようなのです。金沢なんか朝から霰に雷。テレビも停電で消えて、一人留守番の末っ子は不吉な予感に怯えていたそうです。その親の方は、「鹿に注意」の道路標識にもキヤー、なだらかに裾野をひく火山にも「あの篇

はもしかして登山道?ウワー登りた〜い!」をやっていたのでした。おまけに松林氏の「ここは知的障害者受け入れでは最先端の町」のスペシャルガイドも加わり、そのガイドが「インディアン水車も見にゃあ」その妻が「留守番ばあちゃんにも子供にも、絶対北海道土産がある!」を主張。結局渡辺氏が、我儘なお客に振り回されて、精一杯の善処はいつもの通りなのでした。

そうやってあっという間に荒天の小松に降り、翌日は、札幌風雪の映像にわが目を疑いました。月並ながら、幹事の熱い思いが青空を呼び込んだのでしょうか。ありがとうございました!



23期同期会

23期 鳥越 伸博

23期は、何故かしらOBが金沢、高岡、関西の3地区に集中しているの、この3地区で幹事を持ち回り、し2年に1度のペースで同期会を開催しています。

今回は金沢が幹事となり、今年の8月24日(土)、25日(日)の2日間の予定で金沢で行いました。実は昨年開催する手筈になっていたのですが、宿泊場所の予約日付を1か月間違えていたというチョンボで急遽キャンセルとなり、今年改めて金沢組主催で開催することとしたものです。

さて、今回はどこでやろうかという話で、今年はやっぱり「利家とまつ」で金沢の年だろうということで、「金沢で昔懐かしい所を回ろう」ツアーとしました。

まず、土曜の夕方、宿泊場所である湯涌温泉に現地集合。(夜の片町という話もあったのですが、皆さん昔ほど若くはないようで、温泉の方がいいと言う意見の方が多かったのです。) ゆっくり温泉につかり、おいしいものを食べてから、晩はいろいろと近況報告。話題はどうしても昨今の事情から、仕事の不況だという話、あるいは中学生、高校生になりつつある親の言う事を聞かない自分の子供の話に集中していた

ような気がします。

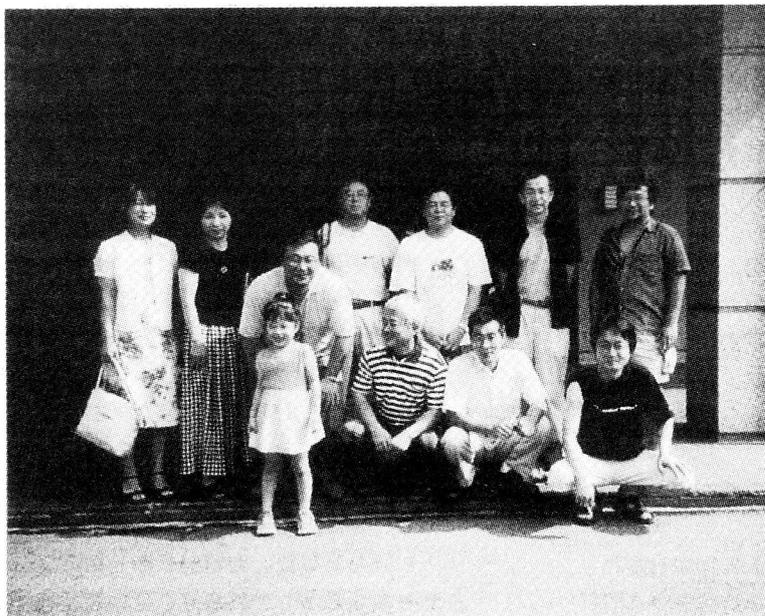
翌日は、昔懐かしい金沢探訪ということで、まず、加賀百万石博開催中の旧城内へ直行。石川門から入城し、「ここは学生本部があった場所?」「テニスコートの坂はゆるくなった?」「生協があそこで、学生食堂があそこにあって」「部室は影も形もないか」等々、昔とはガラッと変わった風景を懐かしんでおりました。

菱櫓も見物し、今度は角間キャンパスへ。新キャンパスは勝手も良く分からず、サファリパークではないけれど、車の中から一周して見学。そうこうするうちに、午前が終了し、昼食は当然「第7ギョーザ」へ。新しいビルと日曜日の昼にも関わらず超満員の店内にびっくりしつつ、注文だけは昔と変わらずホワイトと豚汁。「昔と味が変わった」「いや昔と一緒だ」とワイワイガヤガヤ言いながら、昔ほどはたくさん食べられなくなった事だけは実感して、帰路についたのでした。

次回は2年後、高岡組の幹事で開催する予定です。

《参加者》

浅輪 宇野 興井 竹内 戸水 中川
名倉 名倉 名倉 jr 宮西 鳥越



興 宮 鳥 中
浅 名 戸 井 西 越 川
輪 倉 名 水 竹 宇 名
倉 倉 内 野 倉



奥松福
 蒲櫻奥浦田柴
 原村奥藤石田
 牧川
 和和蒲福
 田田和原田福
 田田奥田
 【1日目 立山駅】

息子の追悼山行と ワンゲルの人達との 10年の歩み

36期 蒲原 道子

今年で息子が遭難して10年になり、追悼山行も10回続いています。今年は8月23日～25日に行ってきました。

人数は14人で立山に8時集合で、今年は何も無いかなあっと…思ったら、なんと34期の伊藤さんのクルマがバーストしてしまったそう。彼は愛知県の蒲郡の人なのですが、35期の同じく愛知県春日井市の井村君の所へ行く途中になったとのことで、大変恐い思いをしながらどうか春日井市に着き、井村君の車で立山へ来たとのことでした。

他3名（33期と36期の奥出夫妻、37期の山本君）は遅れて後で来るとのこと。お見送りの方達は、34期の奥君のファミリー（奥様の千明さん、息子の麟平君、娘の彩香ちゃん）、35期の和田君ファミリー（奥様の香苗さん、娘のなるみちゃん、みのりちゃん）、37期の福田君夫妻（息子のゆきふみ君）計10名。今年は見送りの人を入れると24人になり、本当にすごいなあ…さあこれから出発です。

大幅に時間がずれて、出発10時。立山駅を出て、室堂—雷鳥沢—剣御前—剣沢。少し早く着き、早速テントの設営。設営も手慣れて（10回も設営）、早く出来るようになり、皆が夕食の準備をしてくれている間、テントの中でくつろぎました。

夕食が終わり、石川君が呼びに来てくれて、少し高台の場所で息子の追悼式が始まりました。花を供えて、お参りをします。ここに来ると自然に涙が出てきます。息子のことを思うと…

でも、主人の挨拶が済む頃には、今年もここに来れた嬉しさで一杯になります。10年もここに来て、本当に何て言ったらいいか、言葉で言い表わせないぐらい、ワンゲルの仲間には、感謝、感謝です。

夜、皆と集まってワイワイそしていたら、天気がおかしくなり、雨が降ってきました。早々テントに戻り、主人と二人で息子のことを思い出し、10年の歳月を思い返していました。夜中はすごい雨と風で、寝ていても気になり、ゆっくり眠ることが出来なかったです。

そうこうしているうちに二日目の朝方になりましたが、外はまだ暗い。雨もやみません。それなのに奥君が仕事の都合で一人で下山していきました。大丈夫かなあ一人で…。（奥君ありがとう。気をつけて帰ってね）奥君と別れて、その後また寝ました。

まだ眠気が収まらない時に、今回のリーダーの石川君から、「昼には天気が良くなると思うので、一服剣まで行きましょう」と言われました。慌てて起きて行く準備をし、体操をしているうちに、奥出夫妻が到着。一緒に登ることになり、13人で出発しました。一服剣でも追悼式をやり、「良ちゃん、来たよ！」と心の中で叫び、合掌。

夕方剣沢に戻り、皆でビールを飲みました。この時のビールは本当においしくて（生きているんだな）と思います。その後はもう明日帰るだけと気が楽で、またテントでくつろいでいました。そこに37期の山本君が「お母さん、お父さん、一緒にテントで酒を飲みましょう」と誘いに来てくれました。でもテントに行ったら、人が一杯で入る場所がなく諦めて、二人のテントに戻りました。心遣いをありがとう。夫婦でビールを飲み、それなりに楽しく二人で話をし

ていました。テントは狭くてとっても辛い。でも…何故かいいです。好きになりつつ、楽しいな、いいなあと思います。

息子が山で遭難していなかったら、きっと山には来ていないと思います。絶対に山には登らなかつたと思います。

亡くなくてもずっと私達は、息子に感謝しています。

三日目になり、朝7時に出発。息子にも又来るね、来年頑張るねって心に思い、剣岳に別れを告げて、剣沢を後にしました。高山植物が豊富な所を通り、帰りを急ぎました。

最後の難関が雷鳥沢です。私はあそこが一番嫌いな階段なのですが、池の少し前の所で、松浦君（34期）が助けにリュックを持ってくれました。私は体が軽くなり、また頑張って歩きました。室堂に到着！（やれやれ、うれしい！）今年はずっと天気が良くて大変でしたが、無事で何よりでした。

有難う、皆、本当に今年も無事に行って本当に有難うございます。今回のリーダーの石川君、買い出しをいつも担当している櫻村さん、吉田君、奥君、他にもみんなとっても有り難う。この場を借りて、有り難う。

毎年、普通に行っているけれど、この為に、前から休みの都合をつけてくれている人達、本当に感謝しています。私達夫婦だけでは行けません、剣には絶対に。

10年って本当に長いです。私達も皆と知り合えて10年になりました。今では皆が知らないことまで、私の所には集まる情報基地になりました。名古屋に来た時はいつでも皆が気楽に泊まっていてくれる場所になりました。

つい最近では、35期の和田君が結婚をし、二

人で式に出て、祝杯の歌を歌いました。これも（でしゃばりの私としては）内心嬉しいです。彼は金沢の旭町でカレーのチャンピオンの店を経営しています。皆さん、どんどん行ってあげましょうね。

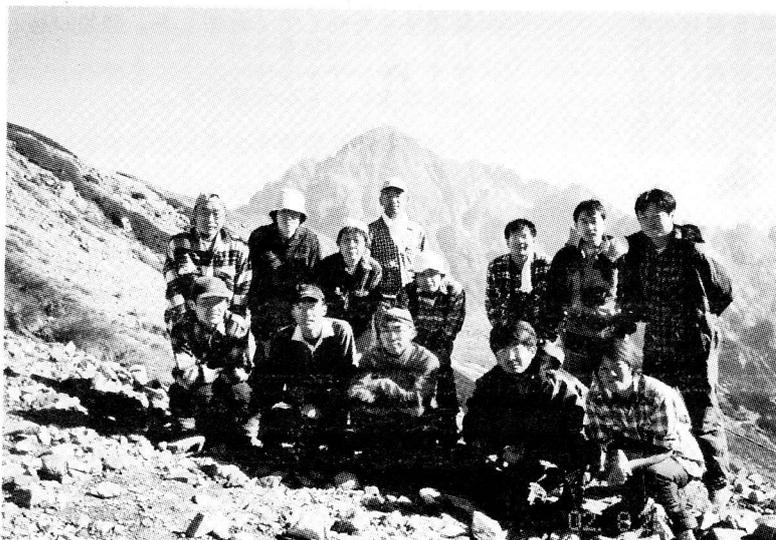
一年通して皆と中々会えないかなあと思ったから、そんな事ないです。いつも逢っているような気がします。10月にはお墓参りに皆が集まります（勿論、我が家です）。我が家はまるで民宿状態です。でも、楽しいです。又、その為に美味しい料理を頑張って作ります。

最後になりますが、いつもワングルの仲間には話していますが、主人共々、皆様と知り合いになれた事、本当に良かったです。息子の事も、息子が居たからこそ、こんな刺激のある人生があると思います。いろんな事、気持ち、考え、すべて、私は皆と会えたからとってもいい人生だと思っています。

まだまだ、頑張って皆について行きますね。（ひょっとして私が引っ張っているかな？）よろしくね。



モモンガ



蒲 櫻 伊
原 村 蒲 藤 柴 山 井
原 奥 田 本 村
松 奥 吉 出 石 藤
浦 出 田 川 牧
【3日目 剣御前】

OB便り (メール抜粋)

03期 岩井
OB通信有難うございました。
最近また山登りを始めました。
面倒臭い良い友達が計画し、おばさん達が取り仕切り、私は付いて行くだけです。「十種ヶ峰」(山口と隣の県との県境)は雪のため途中で林檎狩と河登りに変更。続いて、宮島の弥山(526m)に紅葉を親に行きました。添付ファイル参照。3日経ってもまだ足が動きません。これからは、IT講習会・各種イベント(市のボランティア)・仲間との忘年会と楽しい日々が続きます。

山口市まで車で約2時間「山口大学公開講座(宗教)」、山口街中大学で「時間学」と田村教授並の勉強もしています。目的は『宗教とは何か?』の思索を進めるためです。パウロ二世は「宗教的世界のあることを世界に知らせるのが私たちの使命です」と言われたそうです。此処まで来れば私も教祖の仲間入りかも知れませんね。

命ある限り・・・生きるのが人生。 皆様お元気です!!

03期 鈴木
私はワングル三回生の鈴木です。いつもお便りありがとうございます。私のパソコンが陶芸の作業場であり、全部ガラスに囲まれているので、このところの暑さでメールを開くのもご無沙汰していました。白山に登ったとこのことうやまがいかぎりです。室堂がリホームすることですが、私にとって複雑な気持ちです。そこには春夏秋冬訪れた時の思い出がぎっしり詰まっています。新雪の時期、みぞれにあい震えながら2階の窓から入り3、4日過ごしたことがありました。あの枯れ木が燃えるような独特の匂いを思い起こしています。この頃はあまり山に登る機会も無く、学生時代の憧れであったスイスアルプスのトレッキングに3回ほど出かけました。出来るだけ小さな村に滞在し、近くを歩きまわりました。今年にはワングル同期会で私の故郷会津に10人が集まり、五色沼、吾妻富士などを歩きました。取り留めのない話で申し訳ありませんでした。大変ですが、OB会のことよろしくお願い致します。

03期 西尾
奥名さん、舟田さん、にはいつもOB会のお世話を頂き感謝しています。奥名さんの「KUWV OB通信」で毎回、いろいろの行事の計画の情報をいただきながら、殆ど参加できず申し訳ありません。また、2月に送って頂いた、舟田さん編集の「やまざと」15号には、多くのOBたちのいろいろな活動の報告が満ち溢れており、読んでいただけただかかもその中にインヴォルヴされる様で大変楽しい。さて、5月18、19、20日の3日間、会津若松周辺(猪苗代湖、五色沼、裏磐梯、檜原湖など)に第1~3期のOB会同期メンバーが11名集まり、楽しい、有意義なひとときを過ごしました。「来年もまた、元気な顔で再会しましょう!」と解散しましたが、指折り数えると来年はKUWV 45周年の年に当たります。KUWV 45周年記念事業(或は行事)が計画実施されれば、それを充分に勤めた上で、来年の我々同期会を企画したいと考えておりますが、現時点で、45周年記念事業について、何らかの準備が進んでいる様であれば、それに関する情報を頂きたくよろしくお願い致します。

05期 稲葉
OB会通信の配信、ありがとうございます。貴通信、HPを読ませていただいたことがきっかけで、先日40年ぶりで高三郎山頂に立つてきました。お陰さまで、皆様方のご努力で整備された登山道を歩き、相変わらぬ素晴らしい景観を満喫することができました。

私事で恐縮ですが、昨年末でサラリーマン生活をリタイアし時間にゆとりができましたので、今近隣の山歩きを楽しんでいます。どこかの山での会員の方との出会いも期待しながら、これからも続けていくつもりです。

お仕事等でOB会のお世話大変とは存じますが、今後ともよろしく御願致します

06期 小松
KUWV OB通信有難うございました。
会報・やまざと も毎号大変懐かしく、金沢を思い出しながら読ませて頂いています。登山は最近全くご無沙汰で、体を動かす事と云えば、もっぱらゴルフばかりの生活です。今後共宜しく御願致します。

08期 山村
8期の山村です。あと数日で還暦です。そこで、この9月22日、23日と白山へ還暦登山をしてきました。

実は、7月にも室堂を予約したのですが、休みを取れた日の天気予報が良くなってキャンセルしました。次に8月に再挑戦して、室堂まで行くには行ったのですが、やはり天候が良くなり、翌日も雷雨でしようと言われて、またもやキャンセルして下山してきました。

今回はなんととも還暦登山をと言う思いが通じたのか、予報が良い方にずれたようで、好天に恵まれました。けれどもナナカマドの紅葉がなんとも無残で、実はきれいでしたが、葉っぱはチリチリに枯れていました。帰りはそれこそ久し振りに観光新道を下りまして、この時期なのに、まさにリンドウ尾根と云っても良いくらいに素晴らしいコースでした。

(足腰も何とか持ちました・・・奥さんのペースに合わせたので・・・??それでも一応コースタイムの範囲内。とは言っても、コーヒーを沸かしたりしてのタイムは除外かな?)

と言うことで、現在筋肉痛と心地よい疲労感に浸っております。今日は、その時(9月22日)の夕方、室堂での5時の夕食後の(自分だけ?)感動的な夕日の写真を添付します。

これから秋の良い季節です。皆さんも快適にお過ごしください。

09期 伊藤
いつもお世話ご苦労様です。
リニューアルされたホームページを早速登録しました。すばらしいトップページで感激しています。(中身は見えていません、後日楽しみに・・・)
今朝は抜けるような青空でした。我がオフィスの窓から冠雪した富士山が見えるようになるのももうすぐのことでしょう。

9月のはじめに同期の鍋島君と清水君の3名でゴルフを楽しんできました。お互いに近くにいながら一年ぶりの再会となりましたが、スコアはともかく、鍋島君は会社の合併で、清水君は第二の人生への挑戦でがんばっていることが、私に何よりの励みと安堵感をもたらしてくれました。残暑が厳しい中でしたが、水分補給を十分におしゅべりを活発に、もうすぐ「赤いチャンチャンコ」を着ると言うことが信じられないくらい元気です。

水分補給の注意書きを見ながらを思い出すこと・・・われわれがワングルに入ったころは、水を飲むことは諸悪の根源(パテの元)であり、水無しであのまじい握り飯を食べる技術(握り飯を半分に割って、中の梅干を見つめると唾液が出てくる)を半ば強制的に諸先輩から教わったこと。なつかしく楽しい思い出です。ご活躍ください。

11期 青柳
明けましておめでとうございます。
本年も、宜しく御願致します。
宜しくの中身は、
野沢温泉でのスキーで
白峰村でのKUWV 45周年行事で
そして、このメールで久しぶりの6連休を

、ゆったり過ごしました。2日には、川場スキー場へ今シーズンの初すべりを決行した。何故か、埼玉南部の新座地方にも雪が1センチほど積もり、関東平野は雪景色。お陰で、関越道は大渋滞。6時に家を出て、沼田ICまで、普通道なら2時間が5時間。そって、川場スキー場へ。山道に入ると、吹雪になった。路上でチェーンを着ける失態をし、フロントガラスが雪で曇って路肩の雪山に突っ込む悲喜劇。スキー場に着いた時には、12時を越えていたのですが、冬型が弱まれば青空も見えるかもと期待したが、大間違。リフトは強風で、下の2本しか動かず。ブリザードが吹き荒れる様。何とか、1500mの中級コースを6回滑り降りたが、これが限界。初すべりは、たった2時間強で、足が痛くなる前に終わったのです。でも、スキー自体は手ごたえ有り。「今年もやれる。去年よりも、もっと上手く滑れるようになる。」と実感。野沢のグレンデールでは、今年も絶好調な滑りを披露出来るでしょう。では、重ねて、本年も、宜しくお願いします。---

11期 井上
2003年スキープロジェクト遊戯担当の井上家です。皆さんのスキーへの熱い思いを拝見しながらもう、あれから1年たったのかと、速すぎる時の流れを感じています。さて、このたびのプロジェクトですが、フミゾウ「海外でもいいなあ」カズコ「一番休めない人が何を言ってるの！私、温泉につかりたいから、野沢を極めようかな・・・でも、もうちょっとサービスのいい宿がいいな・・・」セイコ「でも、ふるさととはご飯が美味しかったよ。(相変わらず食い気のみ)」てなわけで、井上家は野沢に1票！と、思いきやフミゾウ&カズコ「温泉や風情は野沢がいいけど、滑るなら志賀がいいな」とのことです。といっているはしから、フミゾウ「私、カービングあんまり好きじゃないから、新しい板が欲しい！」カズコ「弘法筆を選ばず！でしょ。でも、それは弘法だからだね。」セイコ「私、新しい靴が欲しい。だって、小学生のときに買ったきりなんだもん。」と、大騒ぎしています。ちなみに、時期は案1の2月が都合がつけきそうです。(とはいえないもぎりぎりまでいけるかどうかかわからない我が家ですが・・・)果たして井上家はどんなメンバーで、どんな格好で行くのかお楽しみに！！

11期 片田
片田です大変ご無沙汰しています。2月のスキーのお礼をしなくてはと思っているうちに夏が過ぎ木枯らしが吹く季節になりました。最近では本日に月日が早く過ぎていく感じがします。学生時代はテストと休みでメリハリがあり長く感じたような感じがします。今年夏富士山に挑戦しました。下界は34℃で生ぬるい風が吹いていて山は少し曇っているだけのように見えたが2400mから上り始めて寒さと雨と風(さえぎるものがないため歩けないくらいの風速)で2900mで遭難寸前で引き返しました。甘くみてはいけません。来年トレーニングと時期を調整し再チャレンジする予定です。さて10月から土浦に毎日勝田から1時間電車に乗って通勤しています。車窓から筑波山が見えます。筑波山はピークが2つあり見る方向で形が大きく変わります。御参考に北から順番に3枚写真を添付します。関東の名山を見てください。駅名で羽鳥からと石岡と最後に土浦付近から見たものです。85が羽鳥付近から82が石岡から80が土浦からです。

11期 加藤
11/16 職場の100周年行事が終わりました。ホトト息しているところです。しかし、記念誌のページ数が多すぎたため正誤表の作成に追いまわられているのですね。「過ぎたるは・・・」を実感しています。

森川さん、雨の金沢風景ありがとう。私も当分、森

川イズムでいこうと思っています。

青山羊さん
例年の通りお世話になります。例年スキーについては、1案なら参加できると思います。(遠距離の私としては多分2/21金夜~2/24月昼の参加予定)要望が可能ななら11回生以外の人も参加しやすいPR活動もしてください。そのためには、男女、家族などを考え、部屋を余分に予約していただくのが有難いですね。場所はこだわりません。アクセスが良くて飯がうまくて、温泉があれば結構です。

文化祭の準備の真っ最中。私も11/19火のNHK「プロジェクトX」をみました。私の目では、吉野さんらしきが一瞬写っていたような気がします。中には、腹立たしい人も写っていましたが。連日の吹雪の中、伊折から馬場島の往復は実に辛かったですね。手弁当で食う物も食わずのボツ力でした。それが、天候の回復と保険金が入る事がわかってからの対応ともに急転回で、全く驚いたものです。でも、苦勞しただけ懐かしさがこみ上げてきます。

井上家発信の映像
矢崎さんは確実にそうだと思います。しかし、どうやって、この映像をコンピュータに取り込んだの？井上家の情報化が急速に進んでいる事がわかりました。

11期 小山
もののふの 八十乙女らが 汲みまがふ寺井の上のかたかごの花 大伴家持

今晚は、小山です。今日の富山地方は、平野部は薄曇りながら、立山連峰の上部だけには雲が無く、山なみの谷筋は残雪の白、尾根筋は青く、氷見からの海越しに、光り輝き、それはきれいでございました。

11期 長岡
皆さま、あけましておめでとうございます。比較のおだやかな年末・年始でした。恒例により、年末を実家の富山県で過ごして参りました。往きの28日は、午前中が本当に素晴らしい快晴。関東平野北部では、遙かに見る谷川岳など、群馬・新潟県境の山々と、ゆったりした雪の浅間山が見事。やがて、上信越道の妙義山北麓部では、日陰の山肌にかすかに残った新雪の寒々とした色あいが、八風山トンネルを抜けると、佐久平を隔てて遠く北アルプス。三才山トンネルを過ぎてややあって、前山の上に突然見えてくる常念岳。松本盆地に達すると、のどかに晴れ上がった空に、隔てるものともなく北アルプスの全山。梓川谷に入っても路面の雪はさほどではなかったものの、安房峠を越えるとさすがに帯は雪。ここから見る笠ヶ岳は完璧な純白。日本海に小さな低気圧が出来ているらしく、北アルプスが荒れる直前の快晴といった感じで、雪と、抜けるような空の青さが見事。

大して崩れそうにはない空模様を気によくして、高山から更に白川郷経由にと。高山では、さすがに観光客もちらほら。白川郷の方では、あまり観光の人は見かけず。村の中も車でも自由に。白川村荻町を出ればわずかに40分で自宅に。高速道路批判は一面では判るとしても、東海北陸道の開通区間が伸びて本当に便利になりました。しかし、建設部分の谷間に林立する高い橋脚群を見て、多少の走行時間を犠牲にしても、もう少し地形に優しい設計とすればとの思いも。

大掃除に障子貼り替えを済ませて、30日には、石川県の海岸沿いに、越前岬の水仙を期待しつつ行って見ましたが、全くだめでした。ーそれでも、部分的に少し咲いている土地もあり。普通は、正月にははかなり開花するものが、岬近くの「水仙ランド」の管理の方によれば、「昨夏の異常な暑さの影響で秋の芽出しが遅くなって、この分では満開は1月下旬。正月に花の出荷が出来なくて、1億円の減収。」との由。



海岸沿いに続く急斜面は、水仙の葉で一杯で、もしこれが満開ならばさぞかしとの眺めでした。

でかけた当日は、橋立町の民宿「北前船」に宿泊。その紹介；インターネットでは、<http://kagaworld.or.jp/kigyuu/kitamae/> (註：HPは更新されてなく、価格は以前のもの)

ここにあるとおりの、築140年の北前船主の家をそのまま使われているもの。さすがに古い家で、見事なつやの梁が交錯する高い天井や太い柱。しかし、屋内を歩くと各所で軋みも。古風な立ち居振る舞いの姉妹お2人でやっつけいらっしやって、屋内の造作・調度にしろ、食器なども一時代前のものがさりげなくで、泉鏡花の世界。わが娘の言うには、「ムーミンの世界だ。」とか。室の全部を、家族計6人の貸し切りになりました。心のこもった食事がおいしく、ぜひお勧めのお宿でした。

翌31日は、一旦自宅によって母をおろして、そのまま帰路を急いで深夜に茨城県帰着。珍しくも圧雪のない脊梁山地越えとなりました。元旦は、暖かな日差しの中を、筑波の田舎にある自宅周縁を一周して、ほとんど地元の人にしか省みられない神仏詣で。路次の石標を含めて、10ヶ所近くも。所によっては、供えた米が野鳥の餌になるくらいの。それで祈願と供養になればかしの思いで。

昨2日は、朝のうちこそ風が冷たくて、北の地平一杯に、頂部を風に流された積雪の堤が。山々もほとんど見えなかったものが、夕方には曇も落ちてきて、日没後には富士山のシルエット、それに星の輝きが見事でした。では皆様、ことしも良いお年でありますよう。

11期 森川

森川です。おめでとうございます。桑名でも初出勤の朝、5cm程初雪が積もりました。もともと、掃りには融けていたが。小山さんは別として、加藤父さんそしてアオヤギさんまでが……。今年は雪が少ないと聞いていたが、その心配はなさそうかな？私も温泉トレーニングの計画をたてなければ、今年もよろしく。

1/23(木)~25(土)に八方温泉へ行く計画をしています。昨年と同じように、会社の同僚の近藤さんと。24(金)の宿泊は昨年と同じ蕎麦屋「四季の宿林檎舎」TEL0261-71-1566です。ここは、温泉でないですが、500円アップの蕎麦会席はお勧めです。小山さん、よければ昨年と同じように技術指導をしてくれませんか？アオヤギさんへ八方はいいよ。どうですか？ところで、加藤父さんへメールが届かないが、アオヤギさんの方はどうですか？

15期 宇野

中年サラリーマンに山仕事は出来ません。小屋酒場だけならと思っています。里山を妻と歩いています。今日は思いがけず山ツツジのトンネルに出くわし、この世の物とは思えない景色に感激しました。一面のツツジに自然の力の偉大さ(自然の恵み)を感じました。右を見ても左を見てもツツジだらけです。(実は、兵庫県立フラワーセンターの山側の「ツツジの小道」でした。近くの方は是非行ってください穴場です。)

金沢は遠いし、仕事は相変わらずだし、また飲み会に誘ってください。遅くなりましたが「やまざと」楽しく眺めました、有難うございました。編集長のご苦勞察します。

15期 佐野

いつもいつも、お便り有り難うございます。トップページ 冬らしくて良いですね。4年前に4駆にかえてから、雪の上を走ったのは2回のみ。しかも町中で2cmぐらいの積雪でした。愛知県じゃ雪をかきわけてなんてのはむりですよ

。今回もスキー合宿はいけません、春のベルクハイムには行こうと思っております。途中、間所も拾っていきましょかね。

15期 松縄

メール拝受しました。有難うございます。うまく撮れた写真と簡潔な文章でおおよそ内容がわかりました。私も行きたかったのですが、中小企業にいて、ちょうど給料計算日にあたってしまい、遠く相模原から同期の武勇伝を楽しみにしていました。地球と格闘技していましたが、先般4日に久しぶりに高尾山口から歩いて晩秋の奥多摩のみじをスケッチしたり写真も撮ったりで、景信山まで尾根歩きをしました。途中雪を戴いた富士山の凛とした姿に清々とした感。遂じしばらく遠のいていた山歩きに興味が出てきました。寒くなりましたが、身体を大切にしてください。

15期 松林

小屋酒場の件、連絡ありがとうございます。返事が遅れて申し訳ありません。13日はあいにく親戚の法事(四十九日)に出なければならなくなりました。秋の小屋酒場に参加できず残念です。今月は、何かと行事が詰まっております、久しぶりに忙しい思いをしています。北海道でお会いしましょう。

20期 高田

じつは今年8月より、転職で、韓国SAMSUNG電機に単身で行きますので、そろそろ身の回りの整理を行っている次第です。尤も妻子は、富山で羽根をのぼしているでしょうから、私も少し向こうで慣れたら暇を見て韓国の低山を散策してみようと思っております。OBの一人として、少しでもワンゲルのお役に立てれば幸いです。HPを見るたび、多くのOBの御活躍には、頭の下がる思いです。又、別山の写真ありがとうございます。甚之助小屋は、私の尤も好きな白山の山小屋で、あそこから見る景色は最高ですね。

26期 島山

梅雨の晴れ間の6月初旬、白馬大雪渓を滑りに行って来ました。白馬主接や、2合雪渓がエキスパート向きのマイナーコースならば、大雪渓はゲレンデスキーヤーも多いミーハーコースです。最大斜度も30~35度で、とりたてエキサイティングなコースではありません。ただし、稜線からの眺めは最高、数日前に積雪があったようで、上部小雪渓付近の雪質もかなりよく、標高差1300mの滑りをゆったりと楽しんできました。3時半に猿倉から登り始め、8時半には戻って来ました。ほとんど早朝トレーニングですね。次の週は針ノ木雪渓に行こうと思っていましたが、いろいろ都合が重なり、タイミングを逃してしまいました。頂上から滑走可能な針ノ木の方を楽しみにしていたのですが。また来年です。

29期 深井

毎度情報ご提供ありがとうございます。今回も勤務の都合のため残念ながら出席できません。

相変わらずまとまった休みはなかなか取れませんが、可能な週末は、野伏ヶ岳(久々の山スキー!!)や藤原岳(お客さんのお勧めで福寿草を見に行きました)など、せっせとワンゲル的登山を楽しんでます。今まで知らなかったところでも、名古屋ベースで楽しめる山が結構あるものですね



*元顧問 松尾 秀邦

拜復 「やまざと」15号有難うございました。

白山にはいろいろ思い出が多く、木下さんには随分お世話になりました。

昭和27年の白山資源調査では、御前峰の硫黄の調査をやり、地獄谷の谷頭でインロウ石=角閃石の結晶を拾い、真っ赤な物やら、長経28mmの特大的を採ったのを思い出します。

キャンプ地は清浄ガ腹で、クロユリ、ハクサンコザクラを薙ぎ倒して天幕を張りました。国立公園以前でしたのでお咎めもなく、二週間位のキャンプ跡はその後何でもなく…その罰か、今は歩行困難でつらい日々です。

来夏には白峰村のライン祭りが20回目ですので、参加する心算です。いずれ又。



*長野県山岳総合センター

拜啓 時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。56豪雪を超える大雪となった大町市内も3月に入ってからの異常な暖かさで積雪ゼロとなりました。

さて、このたびはOB会報及び35周年記念のご寄贈をいただきましてありがとうございます。当センターの図書室で保管し、一般公開を含め有効に活用させていただきます。

皆様の 今後益々のご活躍を祈念申し上げます。 敬具

平成14年3月27日

*拜啓、早春の候、一雨ごとに暖かくなってきておりますが、いかがお過ごしでしょうか、お伺い申し上げます。

さて、先日は、金大ワンダーフォーゲル部OB会報を御郵送いただき、誠にありがとうございました。仕事柄2~3年に一度は転勤があり、その度に引っ越しをしており、新住所の通知が遅れ、舟田様をはじめ事務局の皆様には大変御迷惑をおかけしております。この場をお借りして深くお詫び申し上げます。

私は、〇年3月の卒業であり、この3月で卒業してから丁度丸〇年になります。

大学時代の後半は、学部の所属していた研究室の活動が多々あり、3年生の夏合宿にも参加出来ない等、ワンダーフォーゲル部に顔を出すこともままならない有様でした。

とくに4年生になってからは、卒論担当の教官と大喧嘩をして留年の危機にみまわれ、また、卒業後も就職が決まらず、まさに踏んだり蹴つたりの状態でした。

しかし、何とか4年間で卒業でき、中学校の非常勤を経て、翌年には今の勤務先…(中略)…仕事自体が嫌になった事は一度もなく、また、家庭では二児に囲まれ。毎日が充実しており、辛い事が多かった大学時代(という風に思っていました)をなつかしむ余裕も出来つつあります。

このように私にとってワンダーフォーゲル部の4年間は残念ながら中途半端なものであり、今では同期生数名と年賀状の交換や、たまに連絡を取り合っている程度ですが、登山は今でも唯一の趣味として生き続けており、毎年のOB会報も懐かしい気持ちで拝見させていただいております。

ところで、今回いただいたOB会報で、舟田様のOB会事務局長、会報編集局長御辞任予告を拝見いたしました。

私自身、地元に残っていながらお力添えもできず申し訳ない気持ちでいっぱいですが、残念ですと言えば全く無責任な言葉になってしまいますので、あえてそれは申しません。

長きにわたり、毎年、莫大な資料を取りまとめられ、私のような不良会員に至るまで郵送手続きをとられ、その御苦勞をお察し申し上げます。長い間、本当にお疲れ様でした。

私個人としては、登山・山歩きのすばらしさと、ほんの数名ではありますが、遠くに離れていても未だに絶える事なく連絡を取り合える仲間を、このワンダーフォーゲル部から戴き、もうそれだけで十分に満足しております。

正直に申し上げて、今現在の金大ワンダーフォーゲル部の活動や他のOBの動向等については、あまり関心はありませんが、私なりにワンダーフォーゲル部からの頂き物を大事にし、今後は、部員の時に登った山に登れば、その思い出に浸り、その思い出を噛み締めていきたいと思っています。

乱筆乱文失礼いたしました。 敬具

平成14年3月3日

(主に年賀状から)

*4期 高田 昌嗣

時々近場の山歩きをしています。

*4期 佐藤 秀紀

先日20年以上ぶり、岩間温泉噴泉塔に仲間と行ってきました。噴泉塔はもう石灰質の塔の先端からはお湯が吹き出しておらず、途中から湧き出ていました。そこから流れ出る高温のお湯と谷川からの水で作る手作り露天風呂に入ってきました。(川の中で缶ビールを持っているのが小生です。温泉から出て、谷川につかるのが何ともいえず気持ちがいいものです。)

*7期 澤田 孝雄

司馬遼太郎にのめりこんで、旅行を最上の趣味として出掛けています。中国。朝鮮、何回行っても飽きることはありません。

*7期 中山 美津枝

昨年は白山に1回行ったきりでした。賀状の剣の写真を見せていただいてとても嬉しかったです。私は随分前、早月尾根から時間をかけて登ってみました。なつかしい。

*9期 白井 勇

45周年楽しみにしています。1月8日上京する予定で、同期の何人かと新年回。早速「白峰村集合」を呼び掛けます。

*10期 木津 治男

昨年、立山登山から再開しました。

*12期 赤地 賢一 14期 喜久子

暮れ、矢崎、青柳、加藤、野村氏と会食しました。「プロジェクトX」で盛り上がりました

*13期 辰野 隆義

3月から東京勤務となります。よって二代目山小屋のおやは穂積に頼んで行きます。

*15期 横井 裕子

昨年1月に義母が亡くなりました。昭次さんは今頃たっぷりと親孝行していると思います。

*17期 渡辺 和文

17期もメールやら会ったりで交流を続けています。

*17期 長田 正文

近所に間所さんと松縄さんが住んでおいでます。東京でOB会の支部が出来れば良いと思っています。

*18期 椿川 利弘

昨年の夏、家族で富士山に登りました。また秋には大西、堤、岡部と焼岳に登りました。

いずれもよく晴れて大変楽しかったです。今年も数回は山に登りたいと思っています。

*18期 大西 正明

焼岳山頂より望む穂高連峰 (2002.10.13)

この日、最高の秋晴れ、この秋、最高の紅葉、この年、一番の骨休め。

*20期 久富 象二

1月末からネパールへ行ってきます。

*30期 野田 和裕

秋になればもう一度白山～BHを踏破したいと思うのです。子供らの親になった今でもそうです。

*37期 若山 悟

昨年は意外な所(釈迦岳)でお会いしましたね。今年はこの山でお会いするのでしょうか。

2003年(平成15年)1月9日(木曜日)

北 陸 中 日

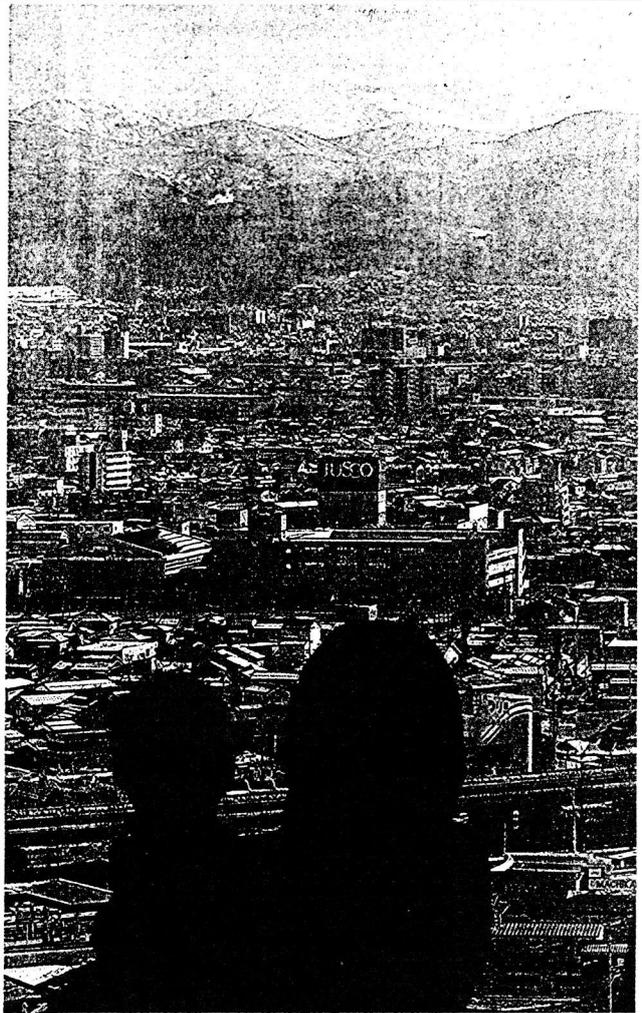


八日は新県庁(金沢市鞍月)が開業後初めて青空が広がり、十九階展望ロビーからは白山や立山連峰、日本海などがくっきり。三六〇度の自然の大パノラマを楽しもうと、大勢の見学者たちが詰めかけた。「新たな観光スポットを客に紹介するため、まず自分の目で確かめたい」というリーフレットを開

広がるパノラマ

新県庁 展望ロビー

三百間で二千八百部配った。「実際はこれ以上の驚いている。数となっており、人気は上々」(県民交流課と



すっきりと晴れ渡り、優美な姿をあらわした白山(中央奥)＝金沢市鞍月の新県庁展望室で



マダラチェウヒ